



前会長様お出直し

ひきよせ

発行所

天理教夕張大教会

〒068-0029 北海道
岩見沢市9条西6丁目21

☎ 0126-22-1248

FAX 0126-23-7275

yubaridai146@gmail.com

ホームページ

bariten.main.jp



LINE 友達登録
お願いします

お出直し

令和6年8月30日午後1時7分 享年76歳
一、みたまうつし之儀 9月1日 午後6時
一、発 葬 之 儀 9月2日 午前10時
齋主 松田理治 本部長にて執行されました。

お知らせ

全教一斉にをいがけデー 9月28〜30日
秋季大祭 10月15日(木) 9時半開扉献饌
藤田文雄前会長様50日祭 秋季大祭終了後
第98回青年会本部総会 27日(日)〔26日前夜祭〕
みちのだの育み塾 29日(水) 9時半受付

葬儀参列者への挨拶文

父は約30年にわたり天理教夕張大教会の大教会会長として、つとめに勤しんでまいりました。

困っている人がいるとかけつけ、助けを求めると人がいれば祈りを捧げ、自分よりも周りの幸せを考えて行動する姿は私たちの心に深く刻まれています。

在職中は北海道教区の教区長も担い、「人を救って、我が身救う」『一れつ兄弟姉妹』の教えを元に西へ東へ奔走。自ら笑いかけ、自ら声をかけ、たくさんの素晴らしい出会いに恵まれた生涯でした。

訪れた別れは悔やまれてなりません、父の良き面影そして、信仰を持って真っ直ぐに歩んだ人生をこれからの手本とし、明日への一歩を踏み出していくと約束します。

長男 藤田大和

夫 藤田文雄は、令和六年八月三十日、享年七十六歳にて出直しました。

皆様とのご縁に恵まれ、幸多き日々を歩ませて頂いた夫に代わり深く感謝申し上げます。

喪主 藤田美重子

※前会長様追悼号を後日発行いたします。

八月月次祭の様

8月に入り、北海道も前年と同様に猛暑となり、寝苦しい夜が続いた。一方で晴天が続いて、田んぼの稲は少しずつ首を垂れ、秋の豊作を予感させていた。

迎えた15日の祭典日は、少し気温が下がり、30度を下回って、連日の暑さからは少し解放されるような気温となった。とはいえ、湿度もそれなりに高く、おつとめ衣を着けての月次祭は、やはり汗の吹き出すような暑さであった。

定刻9時半より開扉献饌。祭儀式のち祭文奏上。その後座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。夏休みということもあり、参拝場には多くの子ども達の顔があった。また、熱中症予防に、交替の度に、廊下に設けられた麦茶のタンクで、順々に水分補給をする姿が見られた。

講話には、竹田勤役員が立ち、「信仰のかどめとして大切なものにかしもの・かりものの教えがあります。親神様から身体をお借りして、日々通らせて頂いておりますけれども、『心一つが我が理』と教えられるています。日々通らせて頂いている中で、私たちは自由に身体を使わせて頂いている訳ですが、



その中にも親神様は、十全の守護をもつて、お働き下されています。ですから、身体の中の事は、私たちの自由には出来ない訳で、親神様は24時間休むことなく心臓を動かしてくれ、また食べたものは消化してくれ、出すものは出してくれる。そのようなお働きをして下さっているお陰で、私たちは自由に身体を使うことが出来るのです。

お腹が空いた、というときは身体が『栄養を補給してください』と脳に信号を送る訳ですよ。また眠たい、という時も『疲れているから、睡眠をとってください』って身体が脳に信号を送ってくれている。トイレに行きたい時も、『溜まってるので、トイレに行つて出してください』と信号がある。私たちはその信号に従って、ご飯を食べ、トイレに行き、横になって休む、という事が出来るのです。でも、例えばダイエットをしている方などは、身体が信号を出しているのに、無視したりする訳で

す。つまり、心が身体を止めるわけですね。それで健康な身体が不調になったりするんです。また、トイレに行くのも同じで、今行ける状態じゃない、といったら心がトイレに行くのをしばらく止める訳ですね。

40年ほど前に、こどもおちばがえりの引率をしていた時、おちばの行事を終えて夜8時ごろからバスで出発し、東京デイズ二ーランドへ行つた事があります。そのバスで、最後の休憩所から出発して15分ほど、『トイレに行きたい子がいる』と。到着地までは、まだ1時間以上かかります。どう考えても、解決法が思いつかない。どうにもできず、とうとうその子は1時間以上我慢しきって、なんとかデイズ二ーランドに到着しました。さつき言った通り、これは心が身体を制御していた事だと思えます。やろうと思えば、それだけの事が出来てしまうんです。

また、睡眠についてもそうです。身体が『眠い』と信号を送っている中、何とかあそこへ行かなければ、と車を運転することもありません。『何か』という思いで、身体が発する信号に逆らつて、心が身体を制御する、という事が出来る訳です。逆もあるんですね。先

ほど言った、お腹が空いた時、我慢するのは、心が身体を制御する事です。でも、お腹が空いた時、冷蔵庫の中の残り物でも充分なはずなんです。でもそこで、ラーメン食べたい、とか、お寿司食べたい、とか思うんです。身体は別にラーメンを欲しいわけじゃない。心が勝手に、自由気ままに働くんです。

トイレも、トイレに行きたいと思つた時、近くに公衆便所がある。入つたら、汚い。ここは嫌だ、と我慢する。身体の方は、どこでもいいから出したい訳ですけど、心が勝手に、汚いからここは嫌だと思ひ、綺麗などところで用を足したい、と思うんです。

信仰においても、にをいがけは苦手だから、おさづけを取り次ぐのは恥ずかしいから、ひのきしんは疲れるから、おちばがえりはお金がかかるから、と勝手に心を使うわけですね。大教会の活動方針の中に『自分でさせていただく心を忘れずに』と、大教会長さんが書いて下さっています。させていただく、という心がやっぱり大切だと思ひます。お道の御用の上に、少しでもさせていたたく。にをいがけ、おたすけ、ひのきしんと、心がそちらへ動くと、身体は動く

わけです。心がそちらへ向かないから、身体が動かない。おちばがえりも、帰らせていただきたい、という心がおちばに向くから、遠くても、多少高くても、おちばへと帰ることが出来るんですね。

これから一年半、少しでも心を祭活動に向けさせていたたく、また御用に心を向けさせていたたくことが、大切だと思ひせていただきます。論達の最後に『御存命の教祖にお喜び頂きたい』と真柱様がお書き下されております。そういう心を私たちが使うからこそ、教祖は私たちをお導き下され、またお働き下されていると思ひます』と話した。

大教会長はあいさつで「今、竹田先生がお話した通り、心が動けば、身体はついてくるという事、本当にその通りだと思ひました。いつか父が言つておりました。『氣構え』というのは、氣が前、だと。氣持ちが前だから、氣構えというんだ、と聞かせてもらいました。都合のいい時だけ、神様に守つて欲しくて、おちば遠いからなあ、ではいけませんね。それこそ、親神様や教祖が、『お前のところ遠いからなあ』と私達の身体に来てくれないかなつたら、心臓は止まつてしまいますね。私達はいつだって



8月11日(日)・祝「山の日」、元気な夏の光の中、大教会で開催された「夏のこども会」に、少年会員40名、育成会員、スタッフ33名、計73名が参加し、夏を楽しんだ。10時に神殿に集まった子供達は、参拝後、ユーチューブ「みちのこ

夕張大教会 夏のこども会

それを水鉄砲で打ち合う、ゲーム「ポイポイバトル」を開始。スタッフ対子供達の壮絶なバトルが繰り広げられ、敵ボスの反逆や、すくい紙の付け替え作業スタッフの懸命なフォローもあり、2度の対戦とも少年会員チームが勝利した。

ソーメン、デザートにクレープが用意され、新生生隊が締めめ屋台を用意し皆に振る舞った。次々流れてくるソーメンを掬い上げる面白さに夢中になり、お椀イッパイに貯めてしまう子もいた。食後は、ユウバリンピック、エキシビ

チャンネル」から配信されているひのきしんについての動画を視聴し、照りつける陽射しの中、境内地の除草ひのきしんに汗して、食堂にて水分補給、キンキンのかき氷を食べ身体を冷ました。休憩後、裏の境内地で、それぞれの額に金魚すくい紙を装着し、



ジョン競技、「水風船投げ」を開催し、子供も大人も参加。男女の金銀銅メダリストにはお菓子が授与された。「こどもおちばがえりから戻ってす



ぐの開催で、不安な部分もありましたが、今年も多くの人が集まり、協力頂き、ありがとうございました。『夕張の真夏の祭典』来年も是非ご参加ください。(団長)

親神様にお守り頂いているので、じゃあ神様に喜んでもらえる、おたすけがしたいな、というのが私達の心ですね。

一つ紹介させていただきたい教祖の言葉があります。『心上がれば、心濁る。心濁れば、神の働きが薄くなる。我より下は無きものと心定めてみよ。非常に心に響きました。おさづけが効いてほしい、おたすけの実を上げたい、と思っ過ぎて途中で、いつのまにか心が高くなり、骨身を惜しみ、心遣いを惜しんでいやしいか、と。心が上がれば、それだけ心が濁るというんですね。子ども達に『大人になつたら色々あるんだよ、とそんな事を私達は伝えたいんです。か。それでは世間の人達と同じです。私達は大人になつたって、ずっと子どものような綺麗な心でいる事を、教祖は教えてくれています。綺麗な心で、また自分より下はないと思っ、つとめていきたい、そのようになれたらと思っています』と話された。



8/24 にをいげ実動日

教会 おとまり会 ども会

この夏の期間中に教会で『おとまり会・ども会』を開催した隊を掲載いたします。ほかにも、開催した隊は写真と内容を編集部までお知らせください。

神富隊 おとまり会

8月10日の祭典後、毎年恒例のおとまり会を開催し、みんなでプール、スイカ割り、流しソーメン等を楽しんだ。会長より「来年のどもおちばがえりに神富隊で参加しよう！」とのお誘いもあった。少年会員25名が参加。



志加ノ谷隊 おとまり会

8月11日、12日、志加ノ谷でおとまり会を実施しました。祭典終了後、屋外で久しぶりの焼肉会を、信者さんと少年会員3名で満喫し、夜には花火で楽しみました。

旭都隊 おとまり会

8月10日、おつとめをつとめてから、焼き肉、その後、花火をしました。少年会員3名、育成会員10名参加。



集合場所…夕張大教会

日時… 9月30日 10時～15時
10月31日 10時～15時

◆次回以降実施予定

(55件)

内容… 神名流し、戸別訪問

参加人数… 2名

場所… 岩見沢市内

日時… 8月23日 10時～15時

◇活動報告

にをいがけ実動について



夕喜元隊 ども会

7月30日、隊長辞令を持って記念写真。沖縄より少年会員3名が参加。

幌都隊 ども会

8月12日、少年会員5名は小樽オタモイ海岸で海水浴、焼き肉を楽しんだ。育成会員5名。

- 8月 1日 各部各会、連絡事項配布
- 4日 会長、支部例会、組例会
- 5日 会長夫人、おちばより帰会
- 11日 夏のども会
- 14日 月次祭準備
- 15日 月次祭
- 19日 札美月次祭
- 23日 前会長、緊急手術
会長、兵神参拝
おちばでお願いつとめ
- 24日 会長、本部神殿当番
- 25日 本部お願いつとめ
- 26日 本部月次祭、遥拝式
- 27日 会長、帰会（かなめ会欠席）
- 29日 大教会お願いつとめ（30日）
- 30日 前会長、御出直し

大教会日誌抄

- 8月 齊藤智明（南幌） 7・23～8・3
- 9月 富山知一（栗山）
- 10月 藤崎 勇（旭都）

輸送部

- 藤崎 勇（旭都） 8・2～4
- 竹田愛子（馬追） 7・24～27
- 会長夫人（夕張） 8・1～4

食堂

- 高橋太志（祝梅） 7・27～28
- 藤田 豊（幌都） 7・27～28
- 大教会長（夕張） 7・29～30

やかた講話

◇どもおちばがえり本部ひのきしん

庶務部

8月